

武漢—エコ都市の構築

2007年、武漢市は政府から省エネ・エコエリアの試験都市に認定され、エコ産業、ハイテク産業、水環境保護などの分野において、モデル都市の構築がスタートしました。これまでの2年間で、ハード・ソフトの両面において、この「両型（省エネルギーとエコロジー）」プロジェクトは順調に進んでいます。

エコ街路灯



エコ街路灯が設置された漢口長江バンド公園

漢口長江バンド公園（江灘）は武漢市の観光名所のひとつですが、現在では「両型」プロジェクトのモデル展示ゾーンにもなっています。

この公園の中で特に目立っているのが、風車の付いた街路灯です。この街路灯は武漢市企業が開発したエコ街路灯です。

この街路灯は、風力発電とソーラー発電で電力をまかなえるという利点のほかに、周辺に電気ケーブルを埋める必要がないので、道路工事もいらず設置費用が安い点でも優れています。

さらに、単なる風力発電、またはソーラー発電のものとは比べ、この街路灯はどちらでも発電できるので、気象状況に左右されやすい自然発電の難点も克服しています。また外観もかわいいと、市民からの評判は上々です。



風力・ソーラー発電の両方の機能を持つエコ街路灯

統計によれば、街路灯1本1年間当たりの電力1000キロワット以上、二酸化炭素排出量1トン以上を削減できるそうです。もし湖北省において、全街路灯の10%

がこのエコ街路灯にかわったら、年間7億キロワットの電気、26.46万トンの石炭を節約できます。また76.8万トンの二酸化炭素、5600トンの二酸化硫黄、2100トンの煤煙の排出を抑えることができます。しかも、エコ街路灯本体のエネルギー消費と排出

汚染物はゼロなのです。

武漢市政府は、この街路灯を現在のモデル利用から全市への普及を目指しています。

グリーン公衆自転車

「マイカーを止め、自転車で通勤しよう」、「都市部の緩行交通のため、自転車に乗ろう」などのスローガンが、武漢市で流行っています。近頃市内の各所で緑色の自転車を見かけるようになりました。これは、武漢市政府と地元企業が共同で構築した「武漢市公衆自転車無料レンタルサービス」の自転車です。

この自転車無料レンタルサービスは、今年5月から武漢市で実用に入りました。市民は公衆自転車の管理所または農業銀行で「信用カード」というカードを申請すれば、無料で自転車を借りることができます。当事務所に近い解放公園の公衆自転車賃借管理所では、40台近くの自転車が並んでいます。

武漢市公衆自転車無料レンタルサービスのシステムは、現在武漢の8区域で行われており、800箇所のレンタル管理所と2万台の自転車があります。信用カードを申請した市民はすでに5万人を超えました。あまりの盛況ぶりに、発行作業が遅れ、申請に制限を設けるようになってきているほどです。しかし、より多くの市民がこのサービスを活用することで、武漢市の厳しい交通状況が緩和されることが期待されます。また、自転車は排気ガスも出ないので、今後、もっと利用者が増え、武漢市の空気がもっと綺麗になればいいなと思います。



自転車レンタルの手続きをする市民

公衆自転車賃借管理所に並ぶ自転車

